

NY マーケットレポート (2019年4月10日)

2019年4月10日(水)

アジア主要株価	終値	前日比	年初来%
日経平均	21687.57	-115.02	8.36%
ハンセン指数	30119.56	-37.93	16.54%
上海総合	3241.93	+2.27	29.99%
韓国総合	2224.39	+10.83	8.98%
豪ASX200	6223.54	+1.73	10.22%
シンガポールST	3327.65	+2.05	8.44%
インドSENSEX	38585.35	-353.87	6.98%

欧州主要株価	終値	前日比	年初来%
英FT100	7421.91	-3.66	10.31%
仏CAC40	5449.88	+13.46	15.20%
独DAX	11905.91	+55.34	12.76%
スペインIBX35	9406.50	-1.30	10.15%
イタリアFTSE MIB	21671.76	-0.02	18.27%
トルコ・イスタンブール100	97015.02	-1120.27	6.29%
ロシアRTS	1262.48	+14.10	18.13%
南ア全株指数	58411.65	+573.28	10.76%

米国主要株価	終値	前日比	年初来%
米ダウ平均	26157.16	+6.58	12.13%
S&P500	2888.21	+10.01	15.21%
NASDAQ	7964.24	+54.97	20.03%

南北米主要株価	終値	前日比	年初来%
カナダ・トロント総合	16396.29	+59.84	14.48%
メキシコ・ボルサ指数	44909.14	-242.49	7.85%
ブラジル・ボベスパ指数	95953.45	-338.34	9.18%

×一部暫定値

外国為替	終値	高値	安値
USD/JPY	111.00	111.28	110.85
EUR/JPY	125.12	125.45	124.78
GBP/JPY	145.32	145.78	144.97
AUD/JPY	79.57	79.59	79.00
EUR/USD	1.1272	1.1287	1.1230
BRL/JPY	28.775	28.943	28.604
RUB/JPY	1.710	1.717	1.696

コモディティ	終値	前日比	年初来%
NY GOLD	1313.90	+5.60	2.54%
NY 原油	64.61	+0.63	42.28%
CBOTコーン	370.75	+2.25	-1.13%
CRB指数	189.665	+1.101	11.70%
ドル指数先物	96.909	-0.097	0.85%
VIX指数	13.30	-0.98	-47.68%

Crypto Currency	本日	前日
CBOE Bitcoin(先物・期近)	5305	5225
CME Bitcoin(先物・期近)	5305	5225
Ripple (BSTP)	0.354	0.354
Ethereum (BSTP)	175.83	177.77
Bitcoin Cash	303.96	299.17

日本国債利回り	本日	前日
2年債	-0.163%	-0.160%
5年債	-0.166%	-0.161%
10年債	-0.053%	-0.047%
30年債	0.535%	0.541%

欧州国債利回り	本日	前日
ドイツ10年債	-0.026%	-0.010%
英国10年債	1.097%	1.104%
フランス10年債	0.320%	0.340%

米国債利回り	本日	前日
2年債	2.321%	2.350%
3年債	2.269%	2.292%
5年債	2.272%	2.305%
7年債	2.365%	2.399%
10年債	2.465%	2.501%
30年債	2.892%	2.914%

4/11 経済指標スケジュール	
08:01	【英国】3月RICS住宅価格
08:50	【日本】3月マネーストックM2
08:50	【日本】3月マネーストックM3
08:50	【日本】4月対内外証券投資
09:00	【オーストラリア】4月消費者インフレ期待
10:30	【中国】3月生産者物価指数
10:30	【中国】3月消費者物価指数
15:00	【ドイツ】3月消費者物価指数
15:45	【フランス】3月消費者物価指数
16:00	【トルコ】2月経常収支
16:30	【スウェーデン】3月消費者物価指数
16:30	【スウェーデン】2月個人消費
18:30	【南アフリカ】2月金・鉱物生産量
20:00	【南アフリカ】2月製造業生産
21:30	【米国】新規失業保険申請件数
21:30	【米国】失業保険継続受給者数
21:30	【米国】3月生産者物価指数
21:30	【カナダ】2月新築住宅価格指数
22:00	【ロシア】2月貿易収支
22:00	【メキシコ】2月鉱工業生産
22:00	【メキシコ】2月製造業生産
23:30	【米国】EIA天然ガス貯蔵量

4/11 主要会議・講演・その他予定
・クラリダFRB副議長 講演
・セントルイス連銀総裁 講演
・ポウマンFRB理事 講演
・米30年債入札
・G20財務相・中央銀行総裁会議 (~12日)

NY 市場レポート

◀ NY 市場概況 ▶

NY 市場では、序盤に発表された米消費者物価指数の前年比ベースのコア指数が予想外の低下となったことを受けて、米長期金利が低下となり、ドルは軟調な動きとなった。さらに、上昇して始まったダウ平均株価がマイナス圏まで下落したことも加わり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。FOMC 議事録では、予想よりもハト派的でないを受け止められたことで、ドルは底固い動きとなった。一方、ドラギ ECB 総裁が、理事会後の会見でユーロ圏経済は今年さらに減速したと指摘したことを受けて、ユーロは下落となった。

主要な米経済指標結果

3 月消費者物価指数（前月比） 0.4%（予想 0.4%・前回 0.2%）

3 月消費者物価指数[コア] 0.1%（予想 0.2%・前回 0.1%）

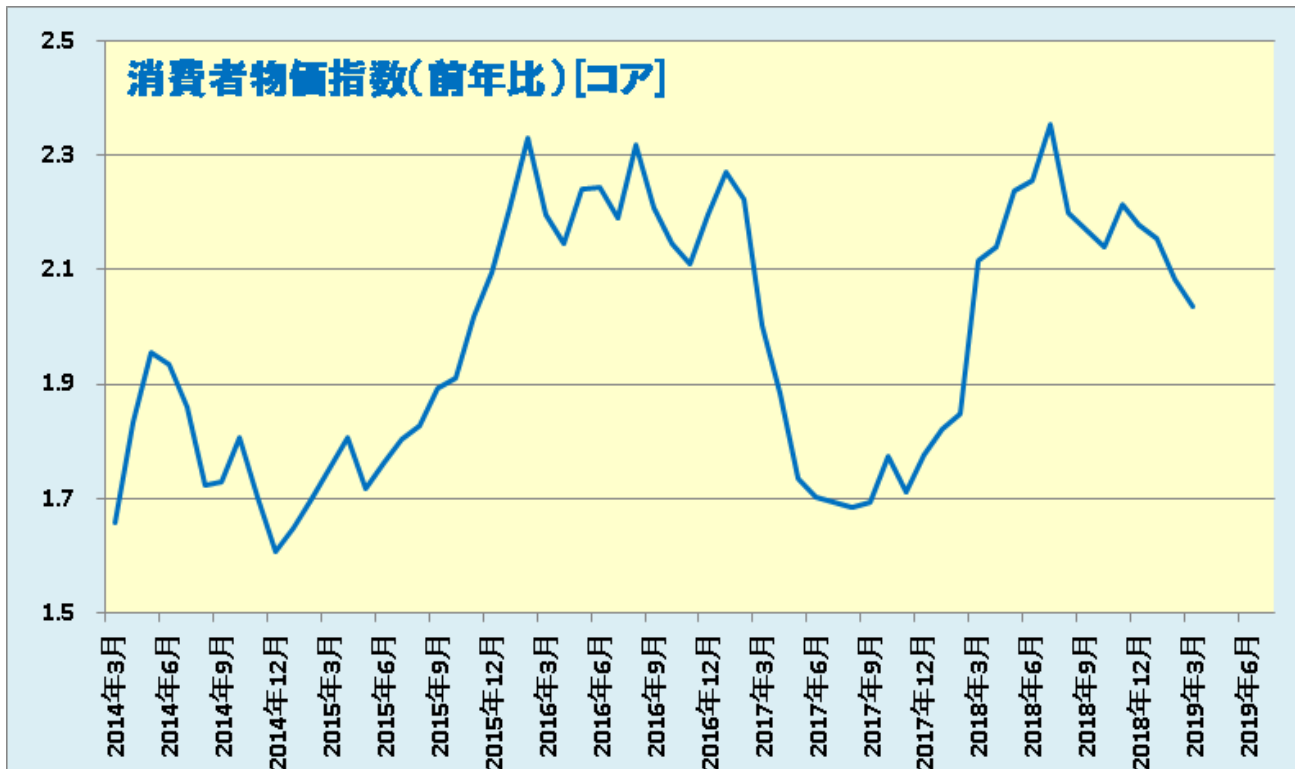
3 月消費者物価指数（前年比） 1.9%（予想 1.8%・前回 1.5%）

3 月消費者物価指数[コア] 2.0%（予想 2.1%・前回 2.1%）

3 月の米消費者物価指数は、前月比ベースでは、市場予想と一致した。前年比ベースでは市場予想を上回ったが、変動の激しい食品とエネルギーを除いたコア指数が市場予想を下回り、2018 年 2 月以来の低い伸びとなった。統計データを見ると、前月比ベースでは食品が+0.3%(+0.4%)、居住費が+0.3%(+0.2%)、医療費が 0.3% (-0.2%)、エネルギーが+3.5% (+0.4%)、サービスが 0.3% (0.1%) だった。



データを基に SBILM が作成



データを基に SBILM が作成

FOMC 議事録

- ・ 大半のメンバーは、年内は政策金利据え置きが望ましいと主張。
- ・ 数人のメンバーは、潜在成長率上回れば、年内利上げが適当だと主張。
- ・ 物価上昇圧力が弱い中で忍耐強い対応は適切。
- ・ 数人のメンバーは、忍耐強い対応は定期的に見直すべき。
- ・ 2、3人のメンバーは、貿易交渉や英国の EU 離脱で不透明感。
- ・ 欧州や中国の景気減速の波及が下振れリスク。
- ・ 多数のメンバーは、数ヵ月で個人消費回復と、設備投資の弱さが和らぐと予想。
- ・ 数人のメンバーは、資産縮小終了後、米国債購入再会で準備水準維持すべき。

ダウ平均は3営業日ぶりに反発

米株式市場では、序盤に発表された米消費者物価指数のコア指数が予想外の低下となり、利上げ後退観測から底固い展開で始まった。しかし、一部金融機関が航空機大手の目標株価を引き下げたとの報道を受けて、ダウはマイナス圏に下落した。ただ、前日引け後に発表された企業の四半期決算が市場予想を上回ったことで、今後本格化する企業決算に対する期待が高まり、主要株価は底固い動きとなった。ダウ平均株価は、堅調な展開で始まり、序盤に前日比58ドル高まで上昇した。その後、下落に転じて49ドル安まで下落したものの底固い動きが続き、結局6ドル高で終了し、3営業日ぶりに反発となった。一方、ハイテク株中心のナスダックは、序盤からプラス圏で推移し、54ポイント高で終了した。



データを基に SBILM が作成

セクター別変動率(ダウ平均)			個別の変動率(ダウ平均銘柄)		
	セクター	変動率		銘柄	変動率
1	テクノロジー	0.70%	1	ゴールドマン・サックスG	1.18%
2	金融	0.63%	2	シスコシステムズ	1.16%
3	通信サービス	0.36%	3	ウォルマート	0.92%
	ヘルスケア	-0.56%		ボーイング	-1.11%
	素材	-1.00%		ユナイテッドH	-1.11%

データを基に SBILM が作成

ドル、ユーロは下落も底固い動き

序盤に発表された米消費者物価指数では、前年比ベースで市場予想を上回り、前月から上昇したことを受けて、ドルは一時上昇したものの、コア指数が予想外の低下となり、2018年2月以来の低い伸びとなったことで米長期金利が低下となり、ドルは軟調な動きとなった。さらに、上昇して始まったダウ平均株価がマイナス圏まで下落したことも加わり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。FOMC議事録では、大半のメンバーが「忍耐強さが必要」と指摘したものの、年内の利下げを予想するメンバーがいなかったことで、予想よりもハト派的でないを受け止められ、ドルは底固い動きとなった。一方、ドラギ ECB総裁が理事会後の会見で、ユーロ圏経済は今年さらに減速したと指摘した上で、マイナス金利の副作用について分析すると発言したことを受けて、ユーロは下落となった。その後は、ダウ平均株価がプラス圏まで戻したこともあり、底固い動きとなった。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様自身でお願いします。